

特定非営利活動法人 日本水フォーラム

平成28年度 評議会 活動報告

ディレクター 守安 邦弘

平成28年11月18日（金）
TKP赤坂駅カンファレンスセンター



政策提言 ◀



草の根活動の支援 ▶



日本の叡智の世界への発信 ▶



人材育成・啓発 ▶



目次

1. 前回評議会から今回までの活動報告
2. 第8回世界水フォーラム、
第3回アジア・太平洋水サミットに向けて
3. 会員
4. 前年度のご助言・ご指導を受けての取組み
5. ご助言・ご指導をお願いしたい事項

1. 前回評議会から今回までの活動報告

アジア・太平洋水フォーラム 10周年



(平成28年7月。於シンガポール)



アジア・太平洋水フォーラム (APWF) 10周年
世界水会議 (WWC) 20周年

1. 前回評議会から今回までの活動報告

(1) 政策提言①



ASEAN+3 水担当大臣フォーラム
(平成28年7月11日。於シンガポール)



第19回アジア・太平洋水フォーラム執行審議会
(平成28年7月13日。於シンガポール)

アジア・太平洋地域の水の安全保障の確立への寄与

1. 前回評議会から今回までの活動報告

(1) 政策提言③



水の安全保障連絡機構 第14回基本戦略委員会

1. 前回評議会から今回までの活動報告

(2) 草の根活動の支援①

ウガンダの小学校でのトイレ建設



JWFファンド

1. 前回評議会から今回までの活動報告

(2) 草の根活動の支援②



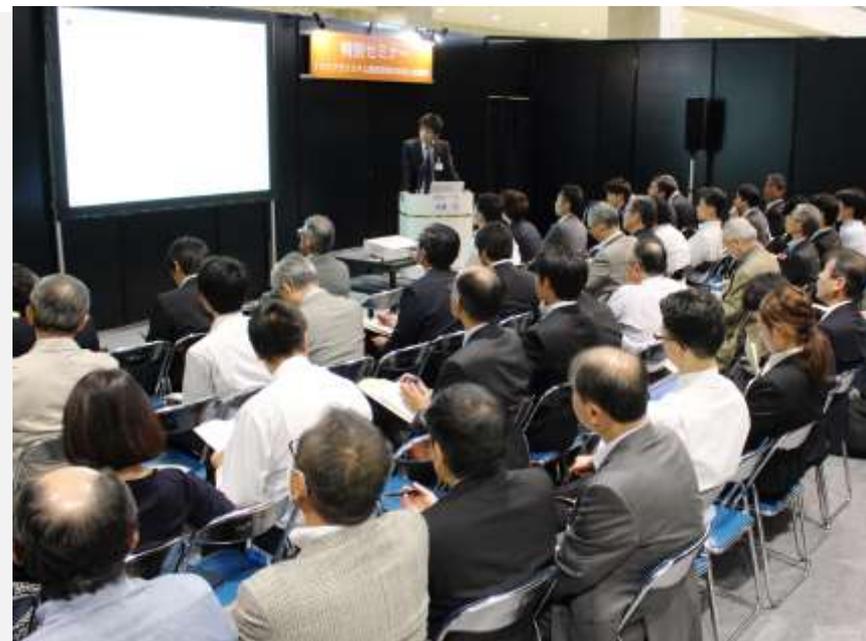
企業の皆様との連携

1. 前回評議会から今回までの活動報告

(3) 日本の叡智の世界への発信①



利根川水系連合・総合水防演習
(平成28年5月21日)



海外水ビジネスセミナー
(平成28年10月27日。於東京ビッグサイト)

水防演習大使館ツアー
海外水ビジネスセミナー

1. 前回評議会から今回までの活動報告

(3) 日本の叡智の世界への発信②



「日本の経験、水と廃水管理に関する現在・過去・未来」セッション
(平成28年10月20日。於ヤンゴン)

ミャンマーウォーター2016

1. 前回評議会から今回までの活動報告

(4) 人材育成・啓発①



水未来会議2016 ~Climate is Water

2. 第8回世界水フォーラムと 第3回アジア・太平洋サミットに向けて

● 第8回世界水フォーラム開催概要

- ◆ 期 間：2018年3月18日（日）～23日（金）
- ◆ 開催地：ブラジル・ブラジリア
- ◆ 主 催：世界水会議（WWC）、
ブラジル連邦政府、ブラジリア連邦区
- ◆ テーマ：Sharing Water



閣僚円卓会議で議長を務める
太田国土交通大臣(第7回)

● 特徴

- ◆ SDGs発表後、初のフォーラム

● 日本の参画意義

- ◆ 水分野での日本の貢献、技術力、
信頼性、存在感を国際社会に示す
- ◆ 第3回APWSを通じた地域プロセスへの貢献



日本パビリオン(第7回)

2. 第8回世界水フォーラムと 第3回アジア・太平洋サミットに向けて

● 第8回世界水フォーラムに向けたJWFの役割

1. 地域プロセス

- ✓ APWF : アジア太平洋地域のコーディネーター
- ✓ 第3回APWSの成果をインプット

2. テーマプロセス

- ✓ テーマ別議論への日本関係者の参画呼びかけ
- ✓ セッション開催



森 日本水フォーラム会長が
議長を務めるセッション（第5回）



アジア太平洋地域セッション
パネリスト(第7回)

2. 第8回世界水フォーラムと 第3回アジア・太平洋サミットに向けて



● 第8回世界水フォーラム

テーマプロセスに示された、6つの個別テーマと3つの横断的テーマ

6つの個別テーマ

- 気候 – 水の安全保障と気候変動
- 人々 – 水と衛生、健康
- 開発 – 持続可能な開発のための水
- 都市 – 統合的な都市の水と排水管理
- 生態系 – 水質、生態系と暮らし、生物多様性
- 資金 – 水の安全保障のための資金調達

3つの横断的テーマ

- 共有 – 利害関係者の参画を通じた持続可能性
- 能力 – 教育、能力開発、技術交流
- ガバナンス – 2030年開発目標に向けた水の管理

2. 第8回世界水フォーラムと 第3回アジア・太平洋サミットに向けて



● 第3回アジア・太平洋水サミット

- ◆ 目標時期：2017年12月～2018年1月頃（第8回世界水フォーラムの前）
- ◆ テーマ：水の安全保障、及び、持続可能な開発目標（SDGs）の達成に向けた
マルチパートナーシップ°
- ◆ ホストに関心を表明している国：3か国
 - ・ ミャンマー：ヤンゴン地域首相より、ぜひ開催したいという意向
 - ・ ベトナム：環境資源省大臣より、関心表明
 - ・ モンゴル：環境・観光大臣より、関心表明

→ホスト国の最終決定は、
2017年1月18日開催予定の第20回APWF執行委員会にて

3. 会員

Strategic Partners



Corporate Members



日本水フォーラムの活動は、
会員の皆様を始めとする
関係者の皆様に支えられています。

- 個人会員: 120名
- 団体会員: 83団体・企業

(平成28年10月末日現在)

4. 前年度のご助言・ご指導を受けての取組み

前年度のご助言・ご指導	実施した活動
SDGs6達成への寄与 →	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第3回アジア太平洋水サミット開催に向けた開催国誘致活動 ・ 海外関連機関とのシンポジウムにおける情報発信活動
水関連災害、防災・現在 →	<ul style="list-style-type: none"> ・ 水災害情報の把握・伝達方策に関する調査業務 ・ 浸水時における被害最小化方策の検討
少額で効果的な事業 →	<ul style="list-style-type: none"> ・ JWFファンド2014のフォローアップ実施
水ビジネスの海外展開 →	<ul style="list-style-type: none"> ・ スマートエンジニアリングTOKYO2016「水インフラシステム 国際展開の未来と水課題」の開催
新たな社会啓発活動 →	<ul style="list-style-type: none"> ・ 水循環基本法フォローアップ委員会への参画 ・ インドでの地域防災、人材育成プロジェクトの実施

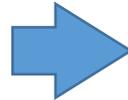
4. ご助言・ご指導をお願いしたい事項

- 第3回アジア・太平洋サミットの成功に向けて
- 第8回世界水フォーラムにて、SDGs達成に向けて日本として世界に発信し、共有すべきこととは
- 質の高い水インフラシステムの国際展開についてJWF/水の安全保障戦略機構に期待すること

【参考】持続可能な開発目標 (SDGs)

ミレニアム開発目標 (MDGs) (目標年は2015年)

目標1.	貧困・飢餓
目標2.	初等教育
目標3.	ジェンダー
目標4.	乳幼児死亡率
目標5.	妊産婦の健康
目標6.	感染症
目標7.	環境(7C. 水と衛生)
目標8.	グローバルなパートナーシップ



持続可能な開発目標 (SDGs) (目標年は2030年)

目標 1.	貧困
目標 2.	飢餓・食料・農業(2.4 水災害等への適応)
目標 3.	健康・福祉(3.3 水系感染症等、3.9 水質等に係る死亡・疾病)
目標 4.	教育・生涯学習
目標 5.	ジェンダー
目標 6.	水と衛生・持続可能な管理 (水と衛生、排水処理・利用、水利用効率、統合水資源管理、生態系保全・回復ほか)
目標 7.	エネルギーへのアクセス
目標 8.	経済成長・雇用
目標 9.	インフラ・産業・技術革新
目標 10.	格差の是正
目標 11.	都市・人間居住(11.5 水関連災害等)
目標 12.	生産・消費(12. 4 水等への化学物質・廃棄物放出削減)
目標 13.	気候変動
目標 14.	海洋(14.7 水産養殖等を通じた経済便益)
目標 15.	陸域生態系・森林・砂漠化・生物多様性(15.1 淡水生態系等、15.3 土壌回復(砂漠化・水災害))
目標 16.	平和、司法へのアクセス、制度
目標 17.	グローバルなパートナーシップ